

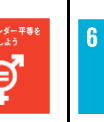
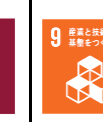
※記載例を参照の上、ご記入ください。

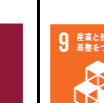
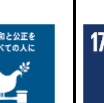
(様式第3号)

企業・団体名(木下建設株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			相談窓口を設置している。 差別防止に関する講習会に参加している。 現在差別がないことを確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則に明記している。相談窓口を男女それぞれ決めて、社員向け教育・周知を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤怠管理システムを活用し、現場での勤務時間等を各部署で把握し、労働時間の分析の実施を行っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者は現在雇用していないが、雇用した場合は適切な処遇、差別・人権侵害のないよう周知・徹底する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			月に1回安全衛生委員会を開催し、その日に現場パトロールを行い、また、安全室独自の店社パトロールを行っている。社員・協力業者向け安全衛生教育を行っている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックを年に1回実施し、結果を集計し、分析している。就業規則に明記し、相談窓口を設置している。産業医との連携も行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			社員の子育て応援宣言に登録している。 多様な人材が活躍できる環境を設けて、活用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			教育訓練計画を策定し、3ヶ月毎にチェック、管理している。資格取得に要する講習会の参加費用、受験料等を会社が全額負担している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働契約法等の改正内容を理解し、体制の整備を行っている。 職場いきいきアドバンスカンパニーを認証している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康経営優良法人(経済産業省)の認定を受けている。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業破棄物の種類・量をmanifestにより管理し、現場毎に集計している。 長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している。										11.6	12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			年に1回温室効果ガスを把握し、飯田市環境ISO研究会に報告している。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			休憩時間には消灯するよう周知している。社有車については低燃費車両に移行している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			環境法規制等遵守チェックリストで管理し、適切な使用を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			施工管理計画書で工事前に生態系に悪影響があるか把握し、対応している。						6.6									15		
16	【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			現場での廃棄物の分別を確実に行之い、資源の再利用化を推進している。長野県3R実践協定を締結している。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			水道・トイレの水の使用量削減のための器具を増やしている。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ			南信州広域連合のいいむす21ISO14001環境確認宣言の認定を受けている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			長野県3R実践協定取組を長野県HPで公開している。 HPで環境方針を公開している。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			現場で使用する安全設備等で可能なものについては太陽光発電を使用している。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			環境に優しい資源(木材、再生材)の利用を促進している。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則の服務規律・懲罰規定に明記し、周知を行っている。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則の服務規律・懲罰規定に明記し、周知を行っている。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			就業規則に明記している。 クラウド上のデータはパスワードを設定し、管理している。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			就業規則に明記し、周知を行っている。 緊急事態対応連絡表等の個人情報が記載されているものの取扱いについては取扱指示を行っている。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ																			16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			協力会社との下請基本契約約款に明記し、確認し、認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	現在、「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表準備中			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			品質ISO9001を取得し、施工管理計画書で計画・管理方法を明記して、取り組んでいる。			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			品質ISO9001を取得し、施工管理計画書で発注者の要求事項を理解し、管理している。									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			当社一級建築士事務所では環境に配慮した設計に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			アイコンストラクションに取り組んで、省力化、生産性向上に努めている。3Dモデル、無人航空機(ドローン)による現地撮影、機械の自動運転 位置を制御等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域社会貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地元説明会等を開催し、地域の方の要求事項等を把握し、対応している。				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			寄付については地元で開催されるイベントに積極的に協力している。桜並木の落葉清掃、天竜川クリーンキャンペーン等のボランティア活動に参加している。飯田市の消防団協力事業所表示制度に加入している。				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			顧客からの特に指定が無い場合は工事において地域の資源(木材等)を積極的に利用する。								8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営者の経営方針、品質方針、環境方針、労働安全方針を明文化し、社内、現場事務所内に掲示している。								8	9								17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			環境法規制等チェックリストで、漏れの無いよう管理している。法改正内容の社内への周知徹底を行っている。事前施工検討会で該当する法規制を検討し、遵守している。																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			品質・環境管理責任者(経営層)を選任している。安全管理専門部門の安全室を設置している。																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			品質・環境ISOのマニュアルに明記し、発注者、関係官庁とのコミュニケーションを行い、対応している。労働安全もリスクを特定し、評価し、対応している。																16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			品質・環境ISOのマニュアルに明記し、リスクを特定し、評価するプロセスを確立している。																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			各種業界、協会活動に加入し、企業活動を実施している。																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			BCPマニュアルを策定し、運用している。国土交通省中部地方整備局に提出し、認定を受けている。									9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			経営者育成セミナーに参加させ、後継者の育成を行っている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定